

令和元年第3回定例会 一般質問内容一覧

日時 令和元年9月3日（火曜日） 午前9時30分から（質問順 1番から6番まで）
場所 新宮町役場 3階 議場

質問順	氏名	質問事項	具体的質問内容	答弁者
1番	末吉 富美徳 議員	1) 中学校部活動方針に基づく今後の部活動のあり方は	<p>6月定例会、文教生活常任委員会において説明された新宮町立中学校部活動方針（案）は、平成30年3月スポーツ庁が策定した「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」などを踏まえられたものである。</p> <p>スポーツ庁のガイドラインでは、社会環境の変化により現状の運動部活動が現代社会にそぐわない部分が出てきている最大の要因は少子化ではないかと指摘している。</p> <p>本町においても将来的には生徒数の減少により運動部活競技数を維持できなくなり、生徒が望む種目がなくなるのではないかと、また、団体競技では大会へ出られないケースも出てくるのではないかと懸念する。</p> <p>そこで、次のことについて町の見解を伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 東中学校が開校し、文化部を含め部活動が始まったが、新宮中にはあって東中になく部活動もある。その場合、生徒の希望によっては新宮中の部活動に入るなど、2校間での交流や連携は行われているのか。 2. 指導者である部活顧問の先生は多忙であり、生徒の指導は部活動指導員などを適切に活用していくことが必要となってくる。現在の活動状況、また、今後の方向は。 	町長 教育長
2番	大牟田 直人 議員	1) 竹を生かした取り組みで里山保全と町の活力を	<p>Tachibana All Powersを中心に行っている「たちばな竹灯籠まつり」や「タチバナノタナバタ」などにより町民が竹に親しみを感じている。</p> <p>さらに竹を生かした取り組みを行うことが、竹林整備・里山保全につながり、町の活力につながると感じる。</p> <p>そこで次のことを伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 竹林を整備するためには継続的な間伐が必要だと思うが、竹林間伐の現状と課題は。 2. 平成29年度に町で購入したチップper機の稼働状況と、チップper機で作成された竹チップや竹パウダーの利用状況は。 3. 竹チップや竹パウダーを使った農産物をブランド化することで、差別化、高付加価値化ができ、間伐材の有効活用や農業の活性化につながると思うが、そういった取り組みはできないか。 4. 幼竹をメンマに加工し販売することで、地域の活性化や竹林整備につなげるという取り組みが全国に広がっている。町でも取り組みが行われると地域活性化や竹林整備につながると思うが、希望する団体等に研修費や機材購入費に対する補助など支援策の考えは。 	町長
		2) 学校給食における地産地消の取り組みで食育と産業振興を	<p>地元の農産物や海産物を学校給食に使用することにより、食育や農業、水産業の振興につながり、地域の産業に対する敬意や生産者への感謝、食べ物大切に育む心育成につながると感じる。</p> <p>そこで次のことを伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 現在の町の給食における地産地消および、子どもたちと生産者の交流の現状は。 2. 地産地消や、子どもたちと生産者の交流を進めるために、給食に新宮町産の食材を中心に使う日を設定することはできないか。 	町長 教育長
3番	西 健太郎 議員	1) 歴史資料館のさらなる活用を	<p>歴史資料館が開館して25年が経過した。町内の価値ある埋蔵物が展示されている歴史資料館は、図書館と並び町内の文化と歴史を発信する数少ない公共施設である。</p> <p>しかしながら、過去5年間の年間利用者数は2,000人台で推移しており、十分な活用がなされていないように思う。</p> <p>歴史資料館の活用が不十分であることは、町にとっても町民にとっても損失ではないかと考える。</p> <p>そこで次のことを伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 歴史資料館の現状に対する認識は。 2. 歴史資料館のさらなる活用のために、土器パズルコーナーや夏休みの特別展など、子どもを惹きつける取り組みを実施することはできないか。 3. 歴史資料館で町の歴史と自然を深く学び、郷土愛を育むことができるように、統一したテーマに基づいて「物語」を強く意識した展示を行うなどの工夫ができないか。 	町長 教育長
4番	安武 久美子 議員	1) 災害時避難所の現状および乳幼児の命をつなぐ備蓄品の導入は	<p>昨今、集中豪雨や予期せぬ河川の氾濫などで一時孤立する地域が出るなど、自然災害の規模が拡大、頻発する傾向にある。</p> <p>本町も災害時における避難所を各地域に指定し、ハザードマップにもその位置や避難区分が記載するなど、予期せぬ災害に備えている。</p> <p>しかしながら、人口増加が進む本町において、現在指定されている避難所の数や収容面積、あるいは備蓄品だけでは十分ではないのではないかと懸念するが、現状と町の見解を伺う。</p> <p>また、清潔な水や燃料の確保が難しい災害時に、乳幼児の命をつなぐ貴重な栄養源となる「国産の乳児用液体ミルク」を導入することはできないか伺う。</p>	町長
		2) 急傾斜地の崩壊防止の対策の進捗と今後の計画は	<p>町内には「土砂災害警戒区域」や「土砂災害特別警戒区域」が各地域に指定されている。</p> <p>昨今は、集中豪雨も頻発に発生するなど急傾斜地の崩壊の危険性が非常に高まっており、近隣住民などから心配の声を聞く。</p> <p>急傾斜地の崩壊防止対策の進捗と今後の計画、また、緊急を要する箇所の有無を伺う。</p>	町長

質問順	氏名	質問事項	具体的質問内容	答弁者
5番	上畝地 白馬 議員	1) 地域コミュニティづくりと健康増進の仕組みづくりを	<p>各行政区では、コミュニティづくりとして夏祭りなど様々な活動が実施されている。また、町や体育協会では町民が生涯にわたり健康であり地域で充実した人生が送れるよう、ヘルシーウォークやソフトボール大会など、様々なイベントを企画・実施している。</p> <p>しかしながら、本町では一年を通して運動できる場所もなく、また、子どもと高齢者など世代間での交流ができていない部分もあり、今後の町の課題であると考え。</p> <p>現在、全国各所で多世代参加型、複数のスポーツ種目が選択可能な「総合型地域スポーツクラブ」などが組織され、活動に広がりを見せている。</p> <p>本町においても「総合型地域スポーツクラブ」が設置されれば、世代間交流のコミュニティづくりと健康増進が同時に実現することが期待できるが、町の見解を伺う。</p>	町長 教育長
6番	温水 眞 議員	1) 高齢者健康増進の取り組みを	<p>日本人の平均寿命は年々伸びているが健康寿命との差は約10年位あると言われている。</p> <p>人生100年時代となりつつある現在、高齢者が健康で元気に暮らせるような取り組みが必要であると考え、本町の現状と今後の施策について伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 介護保険第1号被保険者数および要介護（要支援含む）認定者数をそれぞれ75歳未満と75歳以上に分けた構成比は。 平成30年度介護保険給付額、認定者一人当たりの金額および本町の負担率、収納金額は。 後期高齢者医療費の総額（平成27年度から平成29年度）と一人当たりの医療費、後期高齢者保険の負担内訳、広域連合への納付金は。また、一人当たりの医療費が高い原因を伺う。 現在、町が継続して実施している介護予防事業はどのような事業があるのか。 高齢ドライバーによる交通事故が社会問題となり、運転免許証の自主返納者が増えていると思うが、本町における過去2年の返納者数の推移は。 <p>このように高齢者にかかる諸課題を解消するためには、一人でも多く健康な高齢者が増えていくことが重要であると考え。</p> <p>そこで、徒歩で行ける各地域の公民館などを利用した高齢者対象の運動教室などをより充実させるために、町で健康運動指導士を採用し、各地域での健康増進事業を促進していくことはできないか、町の見解を伺う。</p>	町長

※質問事項、具体的質問内容については、原文のまま記載しています。

※役場、シーオーレ新宮、そびあしんぐうにおいて、議会中継を行っています。是非ご覧ください。

※スマートフォン及びお手元のパソコンから新宮町議会にアクセスしてください。議会中継・録画配信を行っています。是非ご覧ください。

※議場での傍聴希望の方は、当日午前9時から受付を行ないますので、**役場議会事務局前**へおいでください。

※詳しくは、役場議会事務局 TEL 963-1737（直通）までお問い合わせください。

議会の傍聴にお越しく下さい。